

感動デザイン工学研究所

所長 副学長(研究支援担当) 神宮 英夫

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/ade/>

“感動”それは新たなものづくりのコンセプト

21世紀に入って国際競争は激しさを増しており、国内製造業の生き残りには2つの選択肢があります。1つは、生産拠点を海外に移転してコストダウンを図る道で、もう1つは、コスト競争に巻き込まれない付加価値の高い製品を生み出す道です。この高付加価値化を実現するために、イノベーションの必要性が注目されていますが、常にひとを中心に据えたものづくりの視点が重要です。

ものは必ずひととの関わりの中で存在しています。高付加価値の新たな視点が模索される中で注目を集めるコンセプトが、顧客満足度の向上に直結する“感動”です。つまり、“ひとの心を動かす”ものづくりです。

当研究所では、この“感動”に対して3つのプロジェクトからアプローチしています。多様な形での産学連携のもとで研究を進め、実際に製品を開発し、産業界や地域社会の発展に大きく貢献しています。



▲200インチの大画面には2次元、3次元の迫力ある映像が映し出され、THX基準の臨場感あふれるサラウンドシステムを備えています。

RESEARCH THEME : 研究テーマ

感動の測定・評価システムの開発

- ・感動の特質の解明
- ・コミュニケーションメカニズムの解明
- ・感動の数値化

感動共有技術開発による新たな“ものづくり”の提案

- ・五感情報の統合化技術
- ・感動共有技術開発
- ・エンハンスドヒューマンインターフェイスの提案

感動共有技術の応用と支援手法の開発

- ・感動創出システムの構築
- ・感動コンテンツの創出
- ・クリエイターの人材育成

研究キーワード

- ・感性評価
- ・ヒューマンインタフェース
- ・ヴァーチャルリアリティ
- ・コミュニケーションシステム
- ・コミュニケーションサイエンス
- ・コミュニケーションデザイン
- ・表情分析
- ・メディアコンテンツ
- ・エンタテインメント工学
- ・音楽音響学
- ・ビジュアルインフォメーションデザイン
- ・感性工学